

薬剤師が習得すべきベッドサイドでの知識・スキルを学ぶ



薬剤師のための ベッドサイドティーチング 2016

キー局と全国ファイザーの拠点を双方向に結んで行われるWebセミナー

第 3 回

薬剤師のための こどもの「みかた」



セミナーコーディネーター

青木 眞 先生

感染症コンサルタント



演者

笠井 正志 先生

兵庫県立こども病院
小児感染症科 科長

日時

2016年10月19日(水) 19:00～21:00

場所

おりなす八女 第3研修室

八女市本町602-1 Tel 0943-22-5332

*本セミナーは、公益財団法人日本薬剤師研修センターの認定薬剤師制度における
グループ研修受講単位(1単位)を申請できます。

主催 ファイザー株式会社

第
3
回

薬剤師のためのこどもの「みかた」

小児外来診療における最後の砦は薬剤師さんです。ですが、こどもは「(怖い)苦手」、「難しい」だから「こどもは診られない」と薬剤師さんより聞きます。逆です！こどもの診療は「楽しく」かつ「簡単」なものです。

こどもは大人のミニチュアなだけではありません。なぜならば、こどもは発達するからです。年齢を意識することが大事です。たいていのこどもは診察を嫌がります。ですが、直接触れることをしなくても得られる身体所見があります。

こども疾患はシンプルです。また外来を受診する多くは自然治癒するウイルス性疾患です。ですので、たくさんの薬剤は必要としませんが、病気やその治療に関する説明はたくさん必要とされます。薬局では、診察室よりも「あの時間けなかったのですが、、、」という告白があると想像します。

こどもにとって最適な療養の場は、病院ではなく自宅です。正しい説明や愛情の処方も最後の砦である薬剤師さんをお願いしたいです。こどもを診るコツを知り、こどもの診療を楽しみ、こどもを薬漬けにしないこどもを守る薬剤師(こどもの味方)になって、こどもとご家族をHAPPYにしましょう。小児医療を勉強しよう、こどもやご家族にもっと積極的にかかわってみたい、とそんな学びとなる110分となれば幸いです。

○ 笠井 正志 先生 ご略歴

兵庫県立こども病院 小児感染症科 科長

- 《学歴》 平成10年 3月 富山医科薬科大学 卒業
- 平成28年 3月 信州大学大学院医学系研究科(博士課程) 卒業
- 《職歴》 平成10年 4月 淀川キリスト教病院 初期研修医
- 平成12年 5月 淀川キリスト教病院 小児科専攻医
- 平成15年 5月 千葉県こども病院 麻酔・集中治療科 医員
- 平成16年 1月 長野県立こども病院 集中治療科 医員
- 平成16年 4月 長野県立こども病院 集中治療科 医長
- 平成21年 4月 医療法人抱生会 丸の内病院 母子医療センター 小児科科長
- 平成23年10月 長野県立こども病院総合小児科 医監
- 平成25年 4月 同 小児集中治療科
- 平成25年 6月 同 副部長
- 平成27年11月 兵庫県立こども病院 小児感染症科 科長

開催スケジュール (2016年度)

開催日	テーマ	担当講師	開催日	テーマ	担当講師
第1回 終了	バイタルサイン編	徳田 先生	第4回 12月14日(水)	腫瘍学編	山内 先生
第2回 終了	症候論	須藤 先生	第5回 2月15日(水)	循環器編	香坂 先生
第3回 10月19日(水)	小児科編	笠井 先生			